

探究 ひとを想い 先駆する青年たれ

一般社団法人 和歌山青年会議所 www.wakayama-jc.net

Report

2018年12月18日(火) ルミエール華月殿

12月定時総会

2018年度総務委員会 副委員長 瀧本拓起

2018年12月18日(火)ルミエール華月殿5階八州の間にて12月定時総会を開催いたしました。委員会メンバー一同、2018年度を締め括る素晴らしい事業とするため、準備に邁進してきたつもりですが、所々に至らぬ点があったかもしれません。しかしながら、今回も委任状を100%回収できたことや、多くの特別会員・現役会員のご参加とご協力があったことにより、厳格かつ盛大な総会を行うことができました。

総務委員会としましては、これもちまして2018年度のすべての事業が終了となりました。改めまして、この役目を与えてくださった森下理事長、議案書を精査していただいた三役、ともに奔走していただいた委員会メンバー、そして、一年間苦楽をともにしてきた加納委員長に感謝を申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。



森下理事長による理事長総括



山路理事長予定者の挨拶



皆勤賞を受賞したメンバー



出向者を代表して松下副理事長に感謝状



プレジデンシャルリースの伝達



総会を担当した2018年度総務委員会

2018年12月18日(火) ルミエール華月殿

Report

歳末忘年会

2018年度例会委員会 委員長 小谷亮太

2018年12月18日(火)、ルミエール華月殿にて、12月度定時総会に引き続いて和歌山青年会議所の一年を締めくくる歳末忘年会を行いました。

どの委員会も趣向をこらした余興を企画していただいたおかげで賑やかな忘年会となり、一年間苦楽をともにしたメンバーの疲れが吹き飛びました。いずれの余興も甲乙つけがたいものばかりでしたが、最優秀賞は委員会メンバー全員で笑いを取り込んだ短編ムービーを作成された広報戦略委員会が、優秀賞は委員長への愛が込められた楽しいクイズをされた会員開発委員会が、理事長賞は2018年の流行を取り入れたダンスをされました財政規則審査会

が、それぞれ受賞されました。

本年度最後の事業となりましたが、終始楽しく、笑い声の絶えない忘年会となり、森下理事長の掲げたスローガン「シンプルにたのしいこう！」が最も具現化され、メンバーみんなが最高の笑顔で本年度を締めくくることができましたと思います。



担当した例会委員会の小谷委員長 最優秀賞を受賞した広報戦略委員会の永井委員長(左)



肩を組んで「若い我ら」熱唱



2019年1月4日(金)

Report

新年祈願及び表敬訪問

広報戦略委員会 委員長 石原詢二

山路理事長をはじめとする2019年度役員にて、日前神宮・國懸神宮を訪れ、新年祈願を行い、本年度のすべての事業の成功を祈願してまいりました。

また、午後からは和歌山市役所にて尾花正啓 和歌山市長、和歌山商工会議所にて片山博臣 会頭をはじめとする

和歌山商工会議所執行部の方々それぞれ表敬訪問させていただき、年始のご挨拶を行いました。

尾花市長からは和歌山青年会議所に対する激励と期待のお言葉をいただき、商工会議所執行部からはA1への対応、会員拡大の重要性などについてのご意見をいただきました。

新年を迎えて気持ちを新たにするとともに、頂戴したご意見を本年度の活動に活かしてまいります。

いよいよ2019年度がスタートします。和歌山青年会議所メンバーが一丸となって高い志と熱い想いを胸に、明るい豊かな社会を実現するべく邁進しましょう。



本年度事業の成功を祈願



商工会議所執行部と意見交換



商工会議所にて執行部と記念撮影



和歌山市役所にて尾花市長と記念撮影



日前神宮・國懸神宮にて記念撮影

こどもわくわくマルシェ

ひとづくり委員会 委員長 毛満勝彦

2018年度のひとづくり事業は、商品の仕入れから、販売価格の決定、お店づくりを子供たち自身で行い、フリーマーケットに出店するという事業を行いました。

参加してもらった小学生からも、ボランティアとして参加していただいた学生の方からも、保護者の方からも良い体験ができたという声を聞くことができました。

フリーマーケットを出店するにあたっての物品の寄付をしていただいた現役メンバーの皆様、事業に参加していただいたメンバーの皆様のおかげで、参加者の皆様の心に残る体験をしていただくことができました。ありがとうございました。

事業当日の様子を動画にまとめましたので、お時間ございましたらご視聴いただけますと幸いです。



お客さんに売り込む子供たち



子供たちに指示を出す森下理事長



子供たちと記念撮影

QRコードから
ご覧ください。



2月度告知

2月定時総会

2月26日(火)18時30分から ホテルグランピア和歌山 6Fル・グランA
本年度も2月に定時総会を開催します。本年度初めの総会は昨年度事業報告・決算報告と本年度予算承認を行います。また、山路理事長が本年度の組織の運動の方針を示し、メンバーに運動への理解を深めていただきます。総会は法人の構成員が直接参加し、法人の基本的意思決定を行う場であり、最も基本的かつ重要な会合となります。皆様、万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。(総務委員会 副委員長 山田正巳)

北方領土返還要求運動

2月1日(金)7時30分から8時30分まで JR和歌山駅前ならびに南海和歌山市駅前
北方領土は、北海道の北東洋上に連なる歯舞諸島、色丹島、国後島、択捉島の四島のことです。第二次世界対戦が終了した直後、ソ連軍により占拠され、返還されないまま今日に至っています。「北方領土の日(2月7日)」を迎えるにあたり、一人でも多くの国民にこの問題への関心を深めていただくために、JR和歌山駅前と南海和歌山市駅前にて街頭啓発運動を行います。朝早くからの事業ではございますが、皆様のご参加を何卒お願い申し上げます。(国際交流委員会 委員長 西畑元博)

事務局だより



役職変更 会員 山田正巳 君
株式会社ヤマダテニス企画
取締役副社長から代表取締役社長に就任

2月 スケジュール

1	金	北方領土返還要求街頭啓発運動	JR和歌山駅前 南海和歌山市駅前
6	水	第3回財政規則審査会議	事務局
8	金	第4回三役会	事務局
12	火	理事会	商工会議所
17	日	第2回会員会議所会議	白浜・田辺
18	月	近畿地区正副会長会議	京丹後
19	火	近畿地区役員会議	京丹後
21	木	第4回財政規則審査会議	事務局
22	金	金沢会議	金沢
23	土	金沢会議	金沢
24	日	金沢会議	金沢
25	月	第5回三役会	事務局
26	火	2月定時総会	ルミエール華月殿
28	木	委員長会議	あいあいセンター

わとらんが行く！和歌山市が誇る企業の現場 「信濃路」編

取材協力：株式会社信濃路 代表取締役 西平都紀子 様(和歌山市松島105-3)



1 事業の概要

当社は昭和50年に創業し、信州そば・うどんを主とした和食専門店を運営しています。

県内に19店舗をチェーン展開するほか、道の駅すさみの運営などにも携わり、事業を拡大してきました。

2 「和敬喜心」

創業者である父とは、口喧嘩をきっかけに不仲となり、16才の時に実家を飛び出しました。

18才で実家に戻り、車のディーラーに勤めながらも免許が取り消しになったこともあり、今度は和歌山を飛び出て大阪で暮らすようになりました。

当時私は「おそば屋さん」という家業をかって悪いと思っていたのですが、ふとしたきっかけで家業を手伝うようになりました。

それから数年後、父が突然亡くなりました。家業を手伝ってはいたものの、父とは普通の親子の様に仲直りすることがなく、一言も父に謝ることや感謝を伝えることができなかつたというのが本当に心残りです。家業を継いでから数年後に経営理念を定める機会があったのですが、そのときに父への想いが胸をよぎりました。父に一言謝りたかつた、もっと仲良くしておけば良かった、という想いから、人を大切にできる会社になること、これを喜びとして行動することを何よりも大切にしようと考えて、「和敬喜心」【和を大切にし、人を敬い、人の喜びを自分の喜びと思う。その想いを常に心に】という言葉を経営理念に掲げることにしました。

3 職親プロジェクト

当社では刑務所や少年院を出所した方を従業員として雇用する「職親プロジェクト」に取り組んでいます。

刑務所を出た方を会社で受け入れることに反対する従業員もおりました。ですが、犯行に至った背景を聞いてみると、本人にはどうしようもない事情が原因となっていることも多いのです。例えば虐待を受けたり、離婚などで両親から愛情を受けることなく育つたなどの事情があったり、あるいは生まれつき精神的な問題を抱えていたりすることもあります。当初心配していた従業員たちも、そのような事情を知ることによって、二度と刑務所に戻ることがないようにサポートしようという気持ちに変わっていきました。

刑務所出所者の再犯率が高いのは社会がなかなか受け入れてくれないことが大きな原因の1つとなっています。本当に反省して気持ちを改めた人を受け入れて二度と罪を犯さないようにサポートするこ

とは、本人のためというだけではなく、新たに犯罪被害に苦しむ方をなくすということでもあります。

私はこのような形で社会に貢献していきたいと思っています。

4 現役会員へのメッセージ

JC活動をして一番よかったことは、いろんな方とのつながりができたということでしょうか。初対面の方でもJCメンバーというだけで親近感が生まれてすぐに打ち解けることができ、一瞬の出会いが一生をも変える出会いになります。日本中に友人を作ることができましたし、国を超えて海外にもつながりを広げることができました。

また、茶道同好会に入ったことで自分の世界も広がりました。そこで知った千利休の「和敬清寂」という言葉をヒントにして「和敬喜心」という経営理念を定めることもできました。

私の最近の目標は、会社の事業を若い人に任せて、自分がやりたいと思うことをやろうということです。例えば、世界一周をしたりとか、海外で職業訓練校を作りたいとかいろんなことを考えているのですが、JCを通じて知り合った方々とのつながりを活かすことができればすごくおもしろいなあと思います。

私には学歴がなく、置かれている立場もたかが「おそば屋さん」という程度のもので、そんな私がJCに入会したのは、JCでどこまでできるのかを試したい、人間性を向上したい、という気持ちがあったからです。JCに限らないことですが、適当な気持ちでやっても自分自身が成長することはできません。

現役会員のみなさんも、JC活動に真剣に取り組むことによって、自分の世界が広がっていくことを実感していただきたいと思っています。



編集・発行

一般社団法人 和歌山青年会議所

和歌山市西汀丁36番地(和歌山商工会議所5F)
TEL.073-428-3334(代) FAX.073-431-1693
URL : <http://www.wakayama-jc.net>
mail : office@wakayama-jc.net

